

中部横断道猛禽類保全検討委員会
(令和2年度)
議事概要

1. 日時：令和3年1月26日（火）14：30～16：30

2. 場所：山梨県立文学館 研修室

3. 出席者

【委員長】阿部 學 NPO法人日本猛禽類研究機構 理事長

【委員】柳澤紀夫 （公財）山階鳥類研究所 評議員

青木 進 山梨県猛禽類研究会 会長

【オブザーバー】石原 徳幸 山梨県 森林環境部 みどり自然課長

【事業者】国土交通省 甲府河川国道事務所

山梨県 県土整備部 高速道路推進課

4. 議事

(1) 第23回中部横断道猛禽類保全検討委員会 議事録要旨

(2) 令和2年繁殖期の繁殖状況及び営巣木周辺の工事と猛禽類への影響検討

(3) 令和3年繁殖期調査・保全対策方針（案）

(4) 開通後の影響評価

(5) 全体スケジュール

(6) 今後の委員会予定

5. 結果

- ・令和2年繁殖期の繁殖状況の報告を行い、令和2年実施工事及び開通区間における猛禽類への影響は確認されていないことについて了承された。
- ・令和3年繁殖期の調査・保全対策方針について了承された。
- ・開通後の影響評価の項目について了承された。
- ・全体スケジュール及び今後の委員会予定について了承された。令和3年度の委員会では、令和3年繁殖期における工事影響検討及び開通後のモニタリングの計画検討を行っていただきたいことを報告した。

(主な意見)

- ・今後は、これまで長期間にわたって積み重ねてきた貴重なデータを用いて、開通後の影響評価を定量的に行っていくことが課題である。
- ・令和2年の繁殖状況を踏まえて令和3年の留意地区が選定されており、特に問題はないと考えられる。
- ・開通後の影響評価を見据えた各種解析に取り組んでいくことが望ましい。